

災害時のいのちを守る活動と備え

日本赤十字社は、災害対策基本法に基づく「指定公共機関」として、災害救助活動への協力義務が課せられています。

令和4年8月3日からの大雨災害により、青森県では4市8町2村に災害救助法が適用され、約3,000人の方々が避難されました。

日赤岩手県支部では、日赤青森県支部の要請を受けて、緊急セット600個、タオルケット400枚をトラックに積み込みお届けしました。

日赤は、県の災害対策本部とも連携しており、いつでも救護班を派遣する準備をしています。

今後発生し得るあらゆる災害に備え、災害救護の知識や技術の習得を始め、実災害を想定した演習を平時から繰り返して実施しています。

また、災害時赤十字を支援していただける法人等との災害時支援協定の締結を進めています。



令和4年8月3日からの大雨災害による青森県支部への物資搬送



青森県支部へ物資を搬送するための積み込み作業

①救護員災害基礎研修 6/24 実施

岩手県支部救護班を対象とした災害時における通信や診療の基礎知識の習得研修



無線等による情報伝達研修

診療研修

②支部・防災ボランティア合同訓練 8/23 実施

支部職員と防災ボランティア合同によるテント等の資機材の使用確認と大釜を使用した炊き出し訓練



ドラッシュテント設営訓練

大釜を使用した炊き出し訓練

③日赤岩手支部管内施設合同訓練 10/14 実施

管内5施設の職員と防災ボランティアが参加し大規模災害を想定した避難所対応の実動訓練



避難所内の情報や行政等避難所外からの情報をまとめる赤十字救護班

④岩手県総合防災訓練 10/29 実施

令和4年度の県総合防災訓練は陸前高田市で実施 医師会などの各種団体と連携した実動訓練



避難者役に健康状態を聞き取る赤十字救護班



高館農園と災害時支援協定を締結しました！

災害時の避難所では野菜や果物等の生鮮食品が不足し、被災者や支援者のQOL(生活の質)が低下します。

日赤岩手県支部では災害時の備えとして、令和4年9月に矢巾町の高館農園と支援協定を締結し、米や野菜、果物を被災者や支援者にお届けすることができるようにしました。



初開催！「有功会感謝の集い」

有功会は、日本赤十字社の活動に大きく貢献され有功章を受章された方々で構成されている団体です。地域において赤十字精神を広く普及する様々な活動を行なう任意のボランティア組織で赤十字に対する最大の応援団です。現在、県内には9地区に有功会があり総勢約660人の会員で構成されています。

岩手県支部では9月に県内の会員が一堂に会し、相互に意見交換、交流を行い、今後の活動の活性化を図ることを目的とした「有功会感謝の集い」を初開催しました。

長年会の活動にご尽力された会員への表彰、懇談会、講演会、活動報告会等を行い会は盛会裏に終了しました。有功章を受章された皆様、お住まいの地区有功会へ是非ご加入ください。

※有功章受章資格には、活動資金功労、業務功労、献血功労の3種類があります。



社会貢献セミナーのご案内

日赤岩手県支部では、遺贈（遺言による寄付）、相続財産寄付（相続人が相続により取得した財産による寄付）を承っています。

当支部は、令和3年度から岩手県司法書士会との連携協定を締結し、遺贈・相続財産寄付に関するあらゆる相談に迅速に対応できる体制を構築しました。

今年度2回目のセミナーを2月21日（火）にサンセール盛岡で開催します。セミナーを通し、遺贈・相続財産寄付を考えるきっかけにしてみませんか？

昼食、受講料、個別相談全てが無料のセミナーです。

お一人でも、ご夫婦でもご興味のある方はお気軽にご参加ください。

先着30名ですので申込みはお早めをお願いします。



ウクライナ人道危機救援金にご協力ありがとうございます。

募集期間：2023年3月31日まで（予定）

岩手県内受付金額
(2022年12月31日時点)

3,940万2,506円
(1,342件)

※全額が現地への支援に用いられます



(C)ウクライナ赤十字社



(C)JIFRC Marko Kotic

NHK 海外たすけあいに ご協力ありがとうございました。

募集期間：2022年12月1日～12月25日

岩手県支部受付金額

78万3,522円
(652件)

※全額が国際救援活動に用いられます



高額寄付者のご紹介

令和4年12月までに岩手県支部へ10万円以上のご寄付をいただき、掲載のご了承をいただいた個人様・法人様のお名前をご紹介します。(順不同)

個人

- 沼里 進 様 (盛岡市)
- 智田 文徳 様 (盛岡市)
- 菊池 隆 様 (北上市)
- 菊池 雪子 様 (北上市)
- 藤原 昌子 様 (奥州市)
- 井戸 潤春 様 (軽米町)

法人

- 中館建設 様 (二戸市)
- 株式会社本宮運輸 様 (金ヶ崎町)
- Advance 様 (盛岡市)
- 大和証券盛岡支店 様 (盛岡市)
- 株式会社ワールド設備機器 様 (奥州市)
- 株式会社佐藤建設 様 (岩手町)
- 株式会社サンギフト 様 (奥州市)

- 明治安田生命保険 相互会社盛岡支社 様 (盛岡市)
- 世嬉の一酒造株式会社 様 (一関市)
- 東北電設工業株式会社 様 (北上市)
- 株式会社岩手防火管理サービス 様 (花巻市)
- H2 様 (盛岡市)
- 未来の風せいわ病院 様 (盛岡市)
- サイトウデンタルクリニック 様 (北上市)
- みずがわ耳鼻咽喉科医院 様 (北上市)

寄付金付き自動販売機設置企業のご紹介

- 令和4年7月～12月に2社3台の寄付金付き自動販売機を設置していただきました。
- ◆大船渡市 岩手県南運輸株式会社 様
- ◆花巻市 株式会社プライド物流 様

発行者
お問い合わせ

日本赤十字社岩手県支部
組織振興課

〒020-0831 盛岡市三本柳 6-1-10
TEL 019-638-3610 メール info@iwate.jrc.or.jp

赤十字いわて

No.60
2023
冬季・春季号

- トピックス
- 「身近な赤十字推進事業」
 - 「青少年赤十字創設100周年」
 - 「災害時のいのちを守る活動と備え」



「救うをたいけんしてみた。」

3年ぶりに『赤十字ふれあいフェスティバル』を開催
2022年10月、江釣子ショッピングセンターパルとイオンモール盛岡で開催し、たくさんの方々にお立ち寄りいただきました。赤十字事業に関する各ブースを体験いただき、ボランティアの心や赤十字への理解を深めていただきました。

救うを託されている。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
岩手県支部

日本赤十字社
マスコットキャラクター

ハートマーク

日本赤十字社岩手県支部の活動は「Instagram」で↑



「身近な赤十字推進事業」展開中!!

国は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築等を強く推進しており、今後はこうした地域コミュニティを基盤とする「自助・互助の仕組みづくり」がますます重要となっています。

日赤岩手県支部では地域包括ケアの推進に向け、岩手県内に33ある地域奉仕団の中からモデル地域奉仕団を指定し、奉仕団が各地域で様々な活動が出来るよう活動に関する助言や協力を行っています。

また、地域包括ケアへの貢献を目指した「地域の絆ポ

ンティア」の募集と活動促進を図り、地域奉仕団の活動と両輪の活動として、地域の困りごとへの対応や暮らしのサポート、赤十字講習や防災セミナー普及の活動サポートを行っています。

地域の赤十字奉仕団に加入し活動していただける方、または、赤十字地域の絆ボランティアとして個人加入し活動していただける方を大募集しています。

あなたが出来る支援は必ずあります。ご自分の地域でも、広く岩手県内の各地域でも、ご自身の可能な範囲で我々赤十字と一緒に活動してみませんか。

VOICE

令和4年度は地域包括ケアの推進に向けたモデル地域奉仕団を指定し各地域で活動していただきました。今年度活動を実施した3つの地域奉仕団の活動紹介と各委員長からのお話をいただきました。

盛岡地区奉仕団 11月14日、盛岡市の「広宣寺」でサロンを開催



マスコットづくり



健康体操



<柴崎一恵委員長から>

昨年に引き続き、2回目のサロン実施となりました。今回も支部から講習指導員を招いて健康体操をみんなで行った後、素敵なお色の手タオルでくまやうさぎなどのマスコットづくり

をしました。

奉仕団と地域の皆さんと一緒に楽しめる時間はやっぱりいいなと感じました。

今後もより多くの方に参加いただけるよう、地域の方々と相談しながら進めたいと思います。

一関市千厩奉仕団 6月21日、一関市千厩の「神子ノ沢会館」でサロンを開催



防災まちがい探し



非常食レシピの説明

<五嶋秋子委員長から>



既存のサロンや集会などの世話係の方と連絡をとり、サロン等の会場にお邪魔させていただきました。

まずは奉仕団を知ってもらうことから始めましたが、奉仕団の特色でもある非常食レシピを紹介し、自宅にある非常食は何か・・・など話題は豊富でした。

また、防災まちがい探し「きけんはっけん」を利用し、楽しみながら防災について考えていただきました。

サロン以外では、子ども食堂で非常食を使っでの昼食を提供しました。子

どもには炊飯袋でケチャップライス、高齢者には白飯と豚汁を提供し年齢に応じてのレシピと大きな釜に若いママたちは興味津々でした。

また、市民センターの健康講座で非常食レシピの実技講習会を実施し、災害時の備えや食べたいものは何かなどを考える機会になりました。

今後の展望について、コロナ禍のため制限はありますがサロンなどを通して赤十字奉仕団の活動を知って頂けるように、奉仕団員の皆さんと連携を取りながら活動を進めていきたいと思っております。

金ヶ崎町奉仕団 町内において、10月17日「お休み処かみしも」、10月31日「瘤木公民館」でサロンを開催



非常食レシピの説明



毛布ガウンの作り方

<氏家富士子委員長から>



町内ではすでに既存の活動団体が相当数に及んでいることから最初に新たに地域に向くにあたっての考察が必要でした。

地域に入り込む時には事前に情報収集し、各種団体の役員会につないでいく事が必要と考え、当奉仕団の方策としては各種団体が既存するサロンとの共催でした。

昨年度は奉仕団員が居住の地域を対象として2地域(2団体)との共催に向けてことができ、本年度は

町内2か所の団体と地域内の各種団体と連携し「災害時高齢者生活支援講習・暮らしの中の運動」を実施し、併せて災害時のハイゼックスを使用している「非常食」の説明・配付を行いました。

参加者の皆さんは災害時に心身に影響が及ぼされる身の回りの配慮の必要性を実技も交えて学習することができ、身近な赤十字活動について楽しく参加していただきました。

今後とも、地域住民の相互の関係づくりに繋げていきたいと考えています。



赤十字地域の絆ボランティア募集中!!

いつでも、気軽に、好きなだけ、人のため

1. 活動内容について

内容	詳細
日赤岩手県支部が行う各種事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> ○日赤岩手県支部が地域住民を対象に行う「健康生活支援講習」、「救急法」、「幼児安全法」や「防災セミナー」の補助 ○赤十字イベントや各種訓練等での補助
地域の困りごとへの対応や暮らしのサポートなどの活動(自ら行う活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○日赤岩手県支部が地域包括支援センター等と調整した困りごとや暮らしのサポートに対応した活動 ○ボランティアの特技・資格を活かして、自ら企画した活動 例：一人暮らし高齢者の生活支援・生きがいがづくり(高齢者サロン、趣味教室の開催)、地域イベント等での救護係、スマートフォン教室、学童保育等での子ども食堂 など

※基本的に職員と一緒に活動していただきます。経験豊富な方は本人の意向のもと支部との調整により独自に活動していただくこともできます。

2. 登録要件

岩手県在住の15歳以上の健康な方(特別な資格は問いません。高校生も歓迎!!)

3. 活動について

- (1)各団体との調整は日赤岩手県支部が行います。
- (2)ボランティアにかかる経費は日赤岩手県支部が負担します。
- (3)ボランティアにかかる報酬は基本的に無償です。

4. 研修について

- (1)ボランティア登録後に日赤岩手県支部が主催する「ボランティア養成研修」に参加していただけます。
- (2)日赤岩手県支部が行う「健康生活支援講習」及び「防災セミナー」を優先的に受講いただけます。
- (3)年に1回の「ボランティア研修」に可能な限り参加していただけます。

5. 赤十字マークの表示について

活動にあたっては必ず、赤十字マークの付いたベストを着用いただけます。ベストは貸与します。



青少年赤十字は2022年創設100周年を迎えました!!

青少年赤十字が大正11年に創設された頃は少年赤十字と呼ばれていました。大正12年の関東大震災後に食糧支援や文具支援をしたことが最初の活動といわれています。

青少年赤十字(JRC)は、誰の心にもある「困っている人や苦しんでいる人を見たら何か役に立つことをしてあげたい」という赤十字の人道の精神を大切に、人々の幸せや世界の平和のために尽くすことができる人間になることを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

岩手県の青少年赤十字加盟校は、幼稚園・保育園・こども園56園、小学校97校、中学校44校、高校18校、特別支援学校3校で計218団体、約35,000人のメンバーが活動しています。(令和4年12月末現在)

JRCの態度目標である「気づき・考え・実行する」ことを大切にし、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の3つの分野で実践活動を行っています!



心肺蘇生講習



地域の奉仕活動



WEBでの国際交流

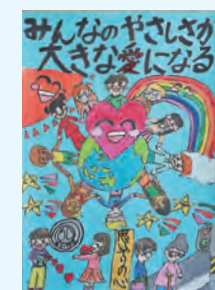
リーダーシップ・トレーニング・センターは、青少年赤十字の最も特徴のある教育プログラムの一つで、集団生活を伴う学習活動の場です。リーダーとして必要な自主・自律の精神を身につけ、赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術への理解を深め、生活態度全般にわたる人間形成の場となっています。例年は2泊3日のプログラムですが、今年度はコロナ感染症流行により1日のみの開催となりました。



100周年記念岩手県ポスターコンクール受賞作品・「私の考える青少年赤十字」メッセージの展示

岩手県支部では100周年に合せ昨年度ポスターコンクールを実施しました。(応募353点中、入賞作品10点、入選作品59点が選定)

今年はポスターと併せて、約90人の児童生徒からのメッセージと約400人からの旗への寄せ書きを10月に開催した赤十字ふれあいフェスティバルの会場に展示しました。



最優秀賞



金賞



金賞

